

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (29年9月号)

平成29年9月5日

暑い日が続きますが朝夕はしのぎやすくなり秋の気配を感じます。お蔭さまで木々花々も元気を取り戻したようです。遅まきながら今月の活動日をお知らせいたします。久々ですので多数のご参加をお待ちしております。

9月17日(日)

9:00~11:00

駅前花壇、植栽の総手入れです(南口みんなの庭、3志士像前、駐車場西脇、北口駐輪場まわり)。

14:30~15:30

中央公園前の帯屋町筋でチラシ配りを行います。

(なお、10月の共同活動は15日(日)、11月は12日(日)の予定です。)

トピックス

○8月の共同活動はお休みでしたが、水遣りや草引きなど、皆様のお力で「みんなの庭」も厳しい夏を乗り切りました。



○コラム:「緑のまちづくり」を考える

(14)眺望か自然保護か? — 忘れがちな景観の保全・復元

本文は次ページをご覧ください。

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先: 〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話: 090-8849-3651 E-mail: m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話: 090-7016-3743 E-mail: kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行: 四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(14) 眺望か自然保護か？ — 忘れがちな景観の保全・復元

右の高知新聞記事(平成29年2月14日の高知新聞夕刊)をご記憶の方もおられると思います。お城の天守閣が見えにくいから邪魔な木を切るという高知県の方針に「待った!」の声があがっているという報道でした。お膝元に新しく建てた歴史博物館からの眺望が悪いから、という場当たり的な発想に驚いて疑問が投げかけられたのは当然かもしれません。

これはこれとして、自然に任せて樹木を育てることが常に正しいと言えるかどうかをちょっと考えてみましょう。

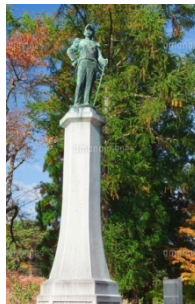
.....



最近、日本で4番目に大きな福島県猪苗代湖を見下ろす高台に建つ「天鏡閣(てんきょうかく)」(写真)を訪ねる機会がありました。「明治40年8月、有栖川宮威仁親王殿下(ありすがわのみやたけひとしんのうでんか)が東北地方を御旅行中、猪苗代湖畔を巡遊され、その風光の美しさを賞せられてこの地に御別邸を建設することを決定した。明治41年(1908年)8月竣工…」(公式ホームページ)とのことです。



国指定重要文化財「天鏡閣」



邸内に立つ
有栖川宮像



磐梯山を映す猪苗代湖

ところが、落成から100年を超えた現在、周囲の樹木が大きく成長して、広々とした芝生の庭からはおろか、館内からも鏡のような湖面を俯瞰することができません。諸般の事情があったのですが、自然のままに放置された結果です。往時の眺望は想像するほかなく、李白の詩句「明湖落天鏡」(天を映す鏡のような…の意)に由来するといわれる名前が泣いています。何とか「景観の復元」が出来ないものか…と願いつつ退出したのは私だけではなからうと思います。